

トラック路上駐車、拡大を 広島県協会が要望、県警検討

中国新聞社 2018/12/04 06:43



©中国新聞社 貨物集配中のトラックなどが並ぶアリスガーデン東側の市道（画像の一部を修整しています）



荷物集配中のトラック運転手の負担を軽減しようと、広島県トラック協会（広島市東区）は3日、市中心部でトラックが路上駐車できる区域の新設や拡充を県警に要望した。駐車場所不足で効率的な集配ができないことが長時間労働の要因になっているため。国が進める運送業界の「働き方改革」に連動し、県警は規制の見直しを検討する。

新設を要望したのは中区のアリスガーデンの南側とドン・キホーテ広島八丁堀店の南側、中区西十日市町、南区松原町の市道計4カ所。いずれも駐車禁止区域だが、業務中の貨物車を対象外とするよう求めた。既に午前9時～午後5時に限り駐車可能なアリスガーデン東側と県庁南側の2カ所は時間延長を要請した。

通販の利用増加などを背景に荷物量が増える運送業界。警察庁は2月、働き方改革には駐車場所の拡充による集配の効率化が必要として、各都道府県警に規制見直しの検討を指示した。こうした動きを受け、協会が拡充を求める場所の絞り込みを進めていた。

新設・拡充を求めた6カ所のうち、運転手の間で「激戦区」と呼ばれるのがアリスガーデン東側。約100メートルの市道は日中、荷物を積み下ろすトラックや貨物車で混む。荷物を出し入れしていた男性運転手（26）は「いつも順番待ちで、仕方なく駐車禁区域に止めることもある。その時は1人が運転席で待ち、1人が集配に走るので効率が悪い」と話した。